

承認番号 RD 5005 - 413

文書番号 03044078

平成 15 年 4 月 28 日

石材・大型タイル用粉末接着剤

テラタイトグレー 試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

1. 目的

「テラタイトグレー」の性能評価試験を行った。

2. 試験項目

都市基盤整備公団機材の品質判定基準「タイルモルタル」に定められた試験項目及び試験方法に準じて行った。

2 - 1. 接着強さ試験(標準時)

2 - 2. 接着強さ試験(温冷繰返し 10 サイクル)

3. 供試材料

供試タイルモルタル:テラタイトグレーを以下の混合比にて練り混ぜたもの

混合比 テラタイトグレー:水 = 20:4.8

下地材:モルタル板(70×70×20mm)

被着材:磁器質タイル(45×45×7mm)

4. 試験方法

4 - 1. 接着強さ試験(標準時)

(1) 試験体の作製

モルタル板の上に 50×50×4mm の合成樹脂製型枠を置き、これに練り混ぜた試料を充填し、金ごてで塗付ける。塗付け後型枠を除去し、直ちに磁器タイル(45×45×7mm 施ゆう)を鋼製加圧板を用いて塗り厚が 2mm になるように圧着し、タイルからはみ出た試料を取り除いたものを試験体とした。(図 1)

(2) 養生条件

標準状態(23±2、50±10%RH)で 672 時間

(3) 測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 1mm/min にて測定を行った。

(図 2)

4 - 2. 接着強さ試験(温冷繰返し 10 サイクル)

(1) 試験体の作製

4 - 1(1)と同様

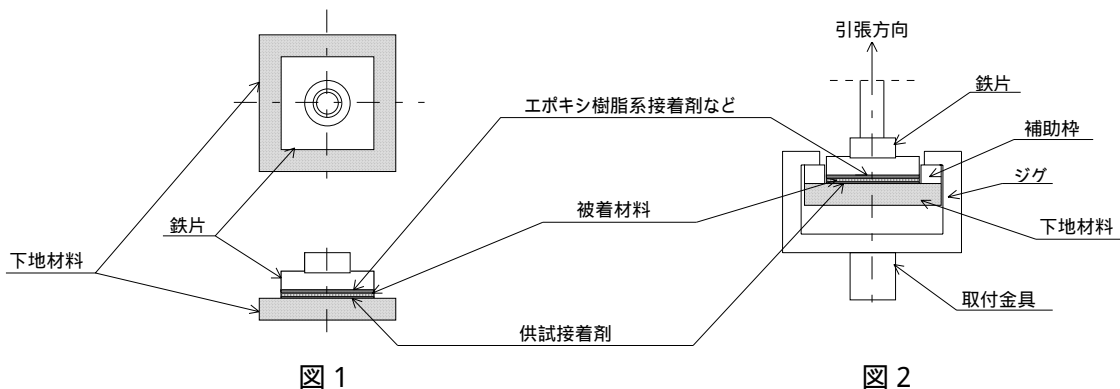
(2) 養生条件

標準状態下(23±2、50±10%RH)で 672 時間 + 10 サイクル(23±2 水中 18 時間
-20±2 3 時間 50±2 3 時間) + 標準状態下に 48 時間静置

(3)測定条件

テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 1mm/min にて測定を行った。

(図 2)



5. 試験結果

5 - 1. 接着強さ試験(標準時)

	接着強さ	破壊状態	基準値
	N/mm ²	%	
1	1.86	M100	0.60N/mm ² 以上
2	1.99	M100	
3	1.77	M100	
ave.	1.87		

5 - 2. 接着強さ試験(温冷繰返し 10 サイクル)

	接着強さ	破壊状態	基準値
	N/mm ²	%	
1	0.85	M100	0.60N/mm ² 以上
2	1.31	M100	
3	1.66	M100	
ave.	1.27		

破壊状態		
タイル	(T)	T : タイルの母材破壊
タイルモルタル	(M) (TM)	TM: タイルモルタルとタイルの界面破壊 M : タイルモルタルの凝集破壊
モルタル下地材	(MG) (G)	MG: モルタル下地とタイルモルタルの界面破壊 G : モルタル下地材破壊

破壊状態の数値は破断位置の割合を示します。

本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所・環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。